

Market Watching

市場レポート

テーマ：Weekly Market Report (2013年11月11日～)
～イエレン次期FRB議長候補の公聴会に注目～

発表日：2013年11月11日 (月)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 嵐峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
11月11日(月)	日本	国際収支(9月)・経常収支	★	+4,008	+331～+7,719	+1,615	億円・未季調
		景気ウォッチャー(10月)・現状判断DI				52.8	
	欧州	—					
	米国	米債券市場休場					
11月12日(火)	日本	第3次産業活動指数(9月)		+0.2%	▲1.3～+0.6%	+0.7%	前月比
		消費動向調査(10月)				45.4	
		30年債入札	★				
	欧州	英消費者物価(10月)	★	+2.5%	+2.1～+2.9%	+2.7%	前年比
	米国	ダラス連銀総裁講演					
		ミネアポリス連銀総裁講演					
		アトランタ連銀総裁講演					
		3年債入札	★				
11月13日(水)	日本	機械受注(9月)：除船電・民需	★★	▲2.0%	▲6.2～+3.7%	+5.4%	前月比
		企業物価指数(10月)・国内		▲0.2%	▲0.4～+0.3%	+0.3%	前月比
		宮尾日銀審議委員講演					
	欧州	欧鉱工業生産(9月)		▲0.3%	▲0.8～+0.5%	+1.0%	前月比
		BOE物価レポート					
	米国	財政収支(10月)				+751	億ドル
		10年債入札	★				
		バーナンキFRB議長講演	★★★				
		アトランタ連銀総裁講演					
11月14日(木)	日本	実質GDP(7-9月期)：一次速報	★★★	+1.6%	+0.3～+2.3%	+3.8%	前期比年率
		ロイター短観：製造業(11月)				+12	DI
		・非製造業(11月)				+18	DI
		5年債入札	★				
	欧州	欧実質GDP(7-9月)：速報値	★★	+0.1%	0.0～+0.3%	+0.3%	前期比
		独実質GDP(7-9月)：速報値	★★	+0.3%	+0.1～+0.6%	+0.7%	前期比
		ECB月報					
		ユーロ圏財務相会合					
	米国	イエレン次期議長指名承認公聴会(上院)	★★★				
		フィラデルフィア連銀総裁講演					
		30年債入札	★				
11月15日(金)	日本	—					
	欧州	欧消費者物価(10月)：確定値		+0.7%	+0.7～+0.8%	+0.7%	前年比
		EU財務相理事会					
	米国	鉱工業生産(10月)	★★	+0.1%	▲0.1～+0.4%	+0.6%	前月比
		設備稼働率		78.2%	77.9～78.5%	78.3%	
		輸入物価(10月)		▲0.5%	▲0.8～+0.2%	+0.2%	前月比
		NY連銀製造業景気指数(11月)	★	+4.0	+2.5～+6.0	+2.0	
11月16日(土)		—					
11月17日(日)		—					

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種バンダー調査に基づく
注目度は筆者

【債券市場】：図表は3～4ページ

先週は、短期ゾーンではユーロ圏内で低下した一方、長期ゾーンは上昇した国が目立った。ユーロ圏内では、ECBが予想外の利下げを実施したことで、短期金利が低下した。一方、週末に発表された米雇用統計

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

が市場予想を大幅に上回る結果となったことから、週末の欧米市場では長期金利が上昇した。

今週は、バーナンキFRB議長の講演と、イエレン次期FRB議長候補の上院公聴会が注目される。先週発表された米GDP、及び雇用統計が強めの数字となったことで、市場では早期QE3縮小観測が台頭しており、両氏の見解からヒントを探る格好となる。ただし、GDPは在庫の増加や輸入の減少によって成長率が押し上げられている側面がある。また、雇用統計も強めだったものの、最終需要である個人消費は伸び悩んでいるほか、住宅需要には減速の兆しがある。景気判断が、両統計で一気には変わるとは考えにくく、行き過ぎた早期QE3縮小観測は修正されよう。もっとも、3月までは縮小はない、との言質を与えるような内容になるとも見込み難く、米金利は再び方向感を失うことになる公算が大きい。一方、日本では円安の進展もあって金利は小幅上昇すると予想される。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、新興国を中心に下落。7～9月期の米経済成長率が高めだったことなどから、早期のQE3縮小懸念が新興国通貨安につながり、これが嫌気された。アジアでは、中国の3中総会の見極めや、相次いだ爆発事件が敬遠材料となった。

今週は、FRB議長と副議長の話が注目される。ただし、QE3早期縮小を決定づけるような内容になるとは考えにくく、株にとってはマイナス材料にはならない見込み。このほか、週末に発表された中国の経済指標が総じて良好な内容だったことが、株式市場にはポジティブ材料。日本ではGDPの発表も注目されるが、大幅減速が予想されている。年度後半は再加速が見込まれるものの、これは消費税率引き上げ前の駆け込み需要による側面が強く、プラス材料とは言い難い。先週末発表された米雇用統計を受けて、同国景気に対する不安感はやや後退し、為替相場が円安に進展した分上昇した後は伸び悩もう。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、ドルが上昇。米実質GDPや雇用統計が市場予想を上回る数字となったことから、QE3は来年3月よりも前に縮小開始されるとの見方が台頭、米金利の上昇を背景にドル高が進んだ。一方、ユーロはECBの予想外の利下げを受けて下落。このほか、インドなど一部新興国ではQE3早期縮小懸念から、下落幅が拡大している。

今週は、バーナンキFRB議長の講演と、イエレン副議長の公聴会から、QE3縮小のタイミングを計る格好となる。バーナンキFRB議長の講演は、QE3縮小の時期について市場に新たなヒントを与える内容にはならない公算が大きい。しかし、イエレン副議長の公聴会では特に雇用に関する考え方などで示唆に富む内容になる可能性があり、かつて主張していたように雇用の内容を重視する見解が披露されれば、QE3早期縮小は困難との見方が強まり、ドル高修正に繋がる可能性がある。なお、QE3早期縮小観測の台頭を受けて、インドなど一部新興国では再び通貨安が加速しており、経常赤字国などでは神経質な相場展開が予想される。

【商品市場】：図表は7ページ

先週は、下落したものが目立った。好調な米経済指標を背景にQE3の早期縮小懸念が高まり、ドル高が進んだことがマイナス材料となった。

今週は、引き続き米QE3の縮小時期（と、それによるドルの動き）が市場の関心事となろう。週末に発表された中国の経済指標が好内容だったことがプラス要因となるものの、週半ば以降はバーナンキ講演と、イエレン公聴会を受けたドル相場次第の展開。行き過ぎた早期縮小観測には修正余地があり、商品市況は底堅い展開が予想される。

[債券市場]

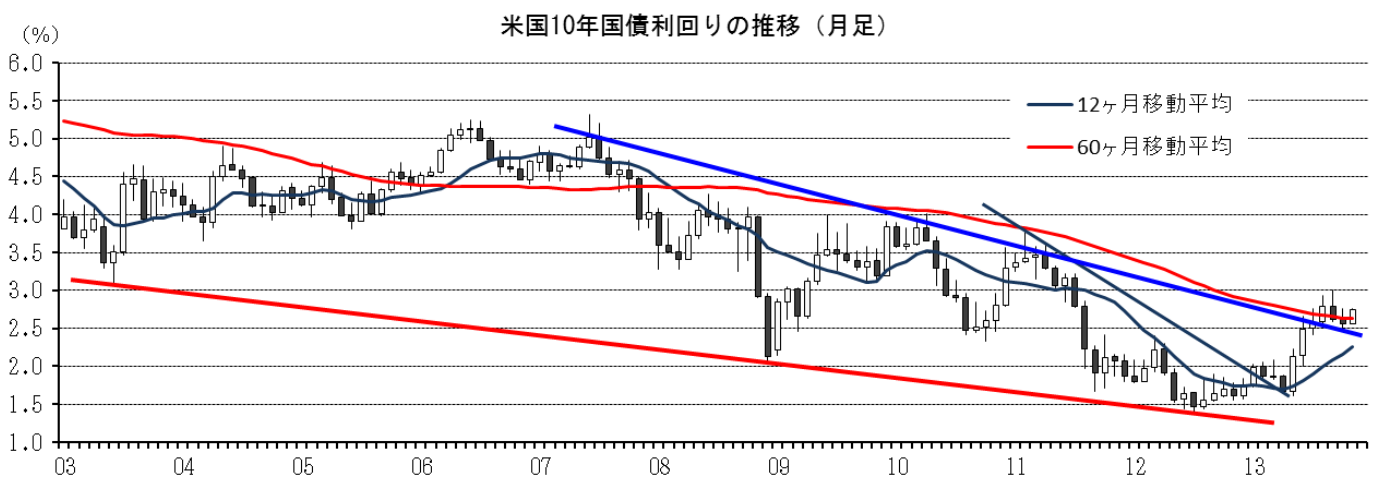
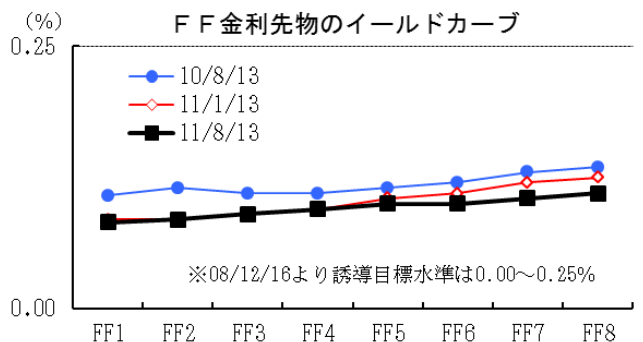
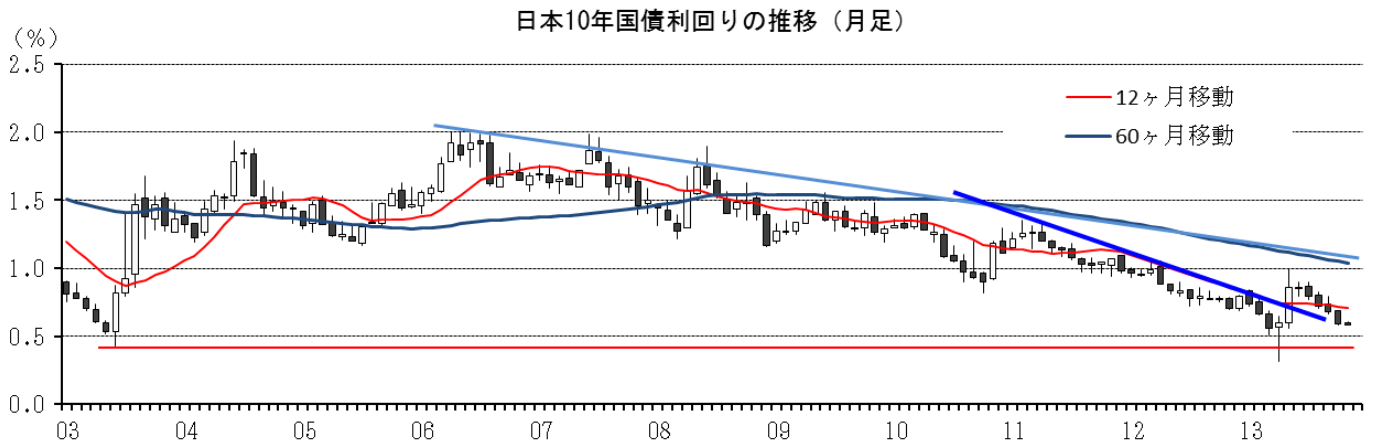
		直近値	直近までの変化率			過去の動き									
			1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間				
						6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前		
2年	日本	0.094	▲1	▲1	▲0	+2	▲1	▲2	▲1	+0	▲1	▲1	▲0		
	米国	0.310	+5	▲0	+0	+9	+6	▲5	+9	▲8	▲1	▲1	+1		
	イギリス	0.456	+22	+3	+4	+13	+2	▲8	+10	+3	▲2	▲3	▲3		
	ドイツ	0.099	+13	▲7	▲2	+7	+11	▲4	+9	▲7	▲5	+1	▲7		
	スペイン	1.412	▲178	+3	▲1	+24	+33	▲33	▲11	▲32	+1	+36	▲22		
	ポルトガル	3.271	▲255	▲138	▲28	▲24	+88	+6	+163	+4	▲138	▲36	▲36		
	イタリア	1.275	▲90	▲39	▲9	+40	+44	▲37	+41	▲8	▲45	+16	▲22		
	アイルランド	1.095	▲85	▲42	▲10	▲14	+120	▲32	+26	▲24	▲45	▲12	▲5		
	ポーランド	2.833	▲95	▲14	▲2	▲3	+47	▲26	+32	▲8	▲20	▲6	▲5		
	カナダ	1.129	+5	▲6	+0	+15	+15	▲7	+4	+0	▲8	▲9	+4		
	メキシコ	3.844	▲96	+11	▲2	▲8	+48	▲16	+2	▲39	▲2	+8	+13		
	オーストラリア	2.742	+5	+2	+2	+2	▲6	▲20	+11	+2	+22	▲5	+4		
10年	韓国	2.780	+2	▲1	+1	+22	+11	▲2	▲8	+1	+0	+6	+1		
	タイ	2.807	+5	▲2	▲0	▲6	▲6	▲6	▲6	▲6	▲6	▲4	+10		
	日本	0.585	▲16	▲7	▲1	+34	▲8	▲6	▲8	▲4	▲9	▲1	▲2		
	米国	2.748	+113	+12	+13	+44	+37	+9	+21	▲17	▲6	▲7	+11		
	イギリス	2.767	+99	+7	+12	+31	+43	▲7	+41	▲5	▲10	▲10	+3		
	ドイツ	1.757	+39	▲5	+7	+32	+20	▲6	+19	▲8	▲11	▲8	▲6		
	ギリシャ	8.199	▲987	▲104	+21	▲221	+217	▲92	+24	▲98	▲124	+28	▲63		
	スペイン	4.110	▲174	▲19	+14	+28	+35	▲11	▲12	▲24	▲27	▲10	▲19		
	ポルトガル	5.955	▲265	▲38	▲15	▲18	+92	▲6	+34	▲6	▲46	▲11	▲6		
	イタリア	4.140	▲88	▲21	+6	+30	+36	▲14	▲0	+3	▲30	+6	▲15		
	アイルランド	3.540	▲467	▲22	+5	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	▲7	▲4		
	ポーランド	4.301	+0	▲11	+11	+26	+82	▲26	+36	+3	▲29	▲8	+4		
長短スプレッド	カナダ	2.609	+90	+4	+11	+37	+37	+1	+16	▲7	▲12	▲11	+8		
	メキシコ	6.239	+86	+32	+20	+43	+85	+22	+30	▲30	▲12	▲2	+34		
	オーストラリア	4.130	+98	+5	+6	+38	+29	▲3	+17	▲8	+21	▲18	+10		
	韓国	3.490	+53	+3	+4	+27	+36	+9	+4	▲11	▲6	▲8	+9		
	タイ	3.937	+60	+12	▲5	+6	+29	+21	+33	▲37	+1	+2	+18		
	日本	+49.1	▲15	▲6	▲0	+32	▲7	▲4	▲7	▲4	▲8	+0	▲2		
	米国	+243.8	+108	+12	+13	+36	+31	+14	+12	▲9	▲4	▲6	+10		
	イギリス	+231.1	+77	+4	+8	+18	+41	+1	+32	▲8	▲8	▲7	+6		
	ドイツ	+165.8	+26	+2	+8	+25	+9	▲2	+10	▲1	▲5	▲9	+1		
	スペイン	+269.8	+4	▲21	+15	+4	+2	+22	▲1	+9	▲28	▲46	+3		
	ポルトガル	+268.4	▲11	+100	+12	+6	+4	▲12	▲128	▲9	+92	+25	+30		
	イタリア	+286.5	+2	+18	+16	▲10	▲9	+24	▲41	+11	+15	▲10	+7		
長短スプレッド	ポーランド	+146.8	+95	+3	+14	+30	+35	▲0	+4	+11	▲9	▲2	+9		
	カナダ	+148.0	+84	+11	+11	+22	+22	+8	+13	▲8	▲4	▲2	+4		
	メキシコ	+239.5	+181	+22	+22	+51	+37	+38	+27	+9	▲11	▲10	+22		
	オーストラリア	+138.8	+93	+4	+4	+36	+35	+17	+6	▲10	▲1	▲13	+5		
	韓国	+71.0	+51	+4	+3	+5	+25	+11	+12	▲12	▲6	▲14	+8		
	タイ	+113.0	+55	+14	▲5	+11	+34	+26	+38	▲32	+6	+6	+8		

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅（例：4週間＝4週間前の週間変化幅、6カ月前＝6カ月前の月間変化幅）を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい（上昇幅の低い）金利、太斜字は最も上昇幅の大きい（低下幅の低い）金利を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

〔株式市場〕

		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
			1年前～			月間						週間	
			1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本	日経平均	14086.80	+59.4	+1.4	▲0.8	▲0.6	▲0.8	+0.0	▲2.0	+8.0	▲0.9	▲3.3	+0.8
	TOPIX	1176.42	+60.0	+2.3	▲0.6	▲2.5	▲0.2	▲0.2	▲2.3	+8.0	+0.0	▲2.3	+0.4
	日経店頭	1928.85	+44.3	+3.6	+0.7	▲2.1	▲9.9	+3.3	▲4.2	+9.0	+1.5	+1.8	▲2.4
米国	N Y ダウ	15761.78	+23.0	+6.7	+0.9	+1.9	▲1.4	+4.0	▲4.4	+2.2	+2.8	+1.1	+0.3
	S P 500	1770.61	+28.5	+7.0	+0.5	+2.1	▲1.5	+4.9	▲3.1	+3.0	+4.5	+0.9	+0.1
	ナスダック	3919.23	+35.4	+6.1	▲0.1	+3.8	▲1.5	+6.6	▲1.0	+5.1	+3.9	+0.7	▲0.5
	フィラデルフィア半導体	500.98	+35.8	+2.9	▲0.9	+5.5	▲0.0	+2.0	▲4.2	+7.2	+3.3	▲2.0	+1.8
イギリス	F T 100	6708.42	+16.1	+5.4	▲0.4	+2.4	▲5.6	+6.5	▲3.1	+0.8	+4.2	+1.5	+0.2
ドイツ	D A X	9078.28	+26.0	+6.1	+0.8	+5.5	▲4.7	+4.0	▲2.1	+6.1	+5.1	+1.4	+0.2
欧州	ダウ欧州50	2881.54	+14.1	+5.5	+0.3	+0.7	▲5.0	+3.6	▲1.1	+3.9	+3.7	+0.7	+0.7
ポーランド	ワルシャワWIG	53305.36	+22.7	+6.3	▲0.6	+8.3	▲6.4	+4.9	+4.1	+2.9	+6.6	+2.5	▲0.5
ロシア	R T	1437.54	+2.3	▲1.5	▲2.7	▲5.2	▲3.9	+3.3	▲2.1	+10.2	+4.2	▲1.6	▲1.2
メキシコ	ボルサ	39864.16	▲2.4	▲0.1	▲3.0	▲1.6	▲2.3	+0.5	▲3.3	+1.8	+2.1	+0.6	+1.0
ブラジル	ボベスバ	52248.86	▲9.2	▲0.1	▲3.3	▲4.3	▲11.3	+1.6	+3.7	+4.7	+3.7	▲2.2	▲0.3
アルゼンチン	メルバル	5294.18	+120.4	+7.5	+3.9	▲9.3	▲14.7	+12.8	+17.2	+21.5	+8.0	+1.1	▲7.8
オーストラリア	A S 200	5400.67	+20.4	+4.9	▲0.2	▲5.1	▲2.5	+5.2	+1.6	+1.6	+4.0	+1.2	+0.5
香港	ハンセン	22744.39	+5.5	▲1.9	▲2.2	▲1.5	▲7.1	+5.2	▲0.7	+5.2	+1.5	▲2.7	+2.4
韓国	総合	1984.87	+3.7	▲0.9	▲2.7	+1.9	▲6.9	+2.7	+0.6	+3.7	+1.7	▲0.9	+0.2
台湾	加権	8229.59	+13.6	▲1.7	▲1.9	+2.0	▲2.3	+0.6	▲1.1	+1.9	+3.4	▲1.1	+0.5
タイ	S E T	1405.03	+8.6	▲2.0	▲1.7	▲2.2	▲7.1	▲2.0	▲9.1	+6.9	+4.3	▲2.0	▲1.8
インド	ムンバイSENSEX30	20666.15	+9.7	+3.4	▲2.5	+1.3	▲1.8	▲0.3	▲3.8	+4.1	+9.2	▲1.0	+2.5
中国	上海総合	2106.13	+1.7	▲4.2	▲2.0	+5.6	▲14.0	+0.7	+5.2	+3.6	▲1.5	▲2.8	+0.8
U A E	ドバイ金融市場	2898.43	+79.2	+3.8	▲0.8	+10.8	▲6.1	+16.5	▲2.5	+9.5	+5.8	+2.8	+0.4

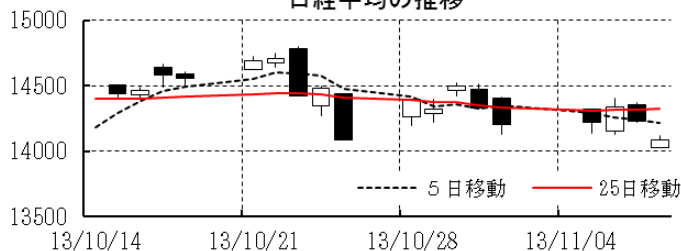
(注)「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例: 4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

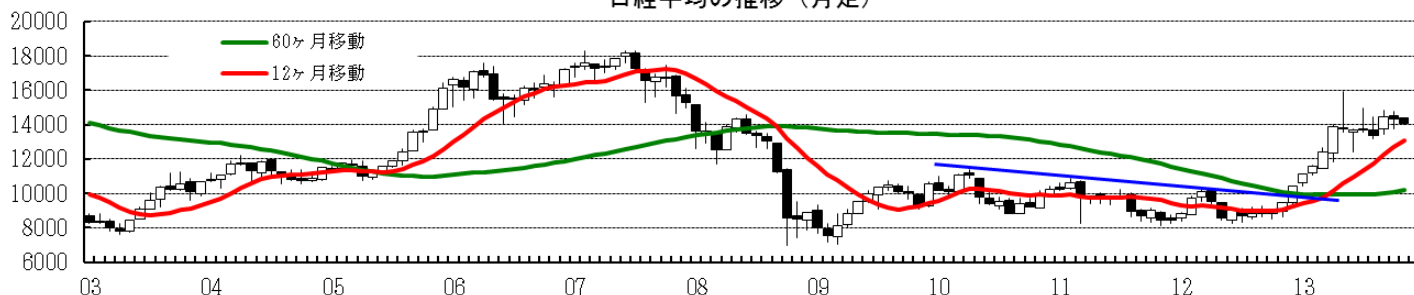
日経平均の推移



N Y ダウの推移



日経平均の推移 (月足)



N Y ダウの推移 (月足)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間						週間	
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本円	99.06	▲24.7	▲2.3	▲0.4	▲3.1	+1.3	+1.3	▲0.3	▲0.1	▲0.1	+0.3	▲1.3
ユーロ	1.3367	+4.8	▲1.5	▲0.9	▲1.3	+0.1	+2.2	▲0.6	+2.3	+0.4	+0.8	▲2.3
イギリスポンド	1.6019	+0.2	▲0.4	+0.6	▲2.1	+0.1	▲0.0	+1.9	+4.4	▲0.9	▲0.0	▲1.5
スイスフラン	0.9213	+2.6	▲1.9	▲1.0	▲2.8	+1.1	+2.0	▲0.4	+2.7	▲0.2	+1.0	▲2.2
ポーランドズロチ	3.1277	+4.4	▲1.1	▲0.5	▲4.1	▲1.0	+3.8	▲3.1	+5.3	+1.3	+0.6	▲2.8
ロシアルーブル	32.675	▲3.6	▲0.8	▲0.7	▲2.7	▲2.8	▲0.4	▲1.0	+2.7	+1.0	+0.4	▲2.1
カナダドル	1.0479	▲4.7	▲1.1	▲0.6	▲3.0	▲1.4	+2.3	▲2.5	+2.2	▲1.2	▲1.6	+0.3
メキシコペソ	13.175	+0.0	+0.5	▲0.9	▲5.6	▲0.9	+1.5	▲5.1	+2.1	+0.5	▲0.2	▲1.4
ブラジルリアル	2.314	▲13.4	▲4.6	▲2.6	▲7.0	▲4.1	▲2.1	▲4.8	+7.1	▲0.9	▲0.9	▲3.1
アルゼンチンペソ	5.966	▲25.0	▲2.5	▲0.6	▲1.9	▲1.9	▲2.2	▲3.0	▲2.1	▲2.0	▲0.6	▲0.8
NZドル	0.825	+1.3	▲0.4	▲0.2	▲7.3	▲2.5	+3.2	▲3.2	+7.4	▲0.4	▲2.6	▲0.1
オーストラリアドル	0.9385	▲9.8	▲0.4	▲0.6	▲7.7	▲4.6	▲1.7	▲0.9	+4.7	+1.5	▲1.0	▲1.5
韓国ウォン	1066.35	+2.2	+0.8	▲0.5	▲2.8	▲0.9	+1.7	+1.1	+3.1	+1.4	▲0.2	+0.1
台湾ドル	29.501	▲1.3	▲0.4	▲0.3	▲1.6	▲0.2	+0.0	+0.3	+1.2	+0.3	+0.1	▲0.1
シンガポールドル	1.2466	▲1.8	+0.2	▲0.3	▲2.7	▲0.3	▲0.2	▲0.3	+1.5	+1.1	+0.3	▲0.6
タイバーツ	31.47	▲2.5	▲0.3	▲0.9	▲3.9	▲2.1	▲0.7	▲2.8	+2.8	+0.2	+0.1	▲0.6
インドネシアルピア	11417	▲18.6	▲2.2	▲0.7	▲0.7	▲1.3	▲3.6	▲9.9	▲2.0	+2.1	▲1.4	▲2.9
インドルピー	63.35	▲16.4	▲2.0	▲2.6	▲5.6	▲5.1	▲1.9	▲9.8	+6.1	+0.8	▲0.4	▲0.5
中国人民元	6.092	+2.8	+0.46	+0.12	+0.49	▲0.05	+0.14	+0.15	▲0.01	+0.43	+0.24	▲0.27

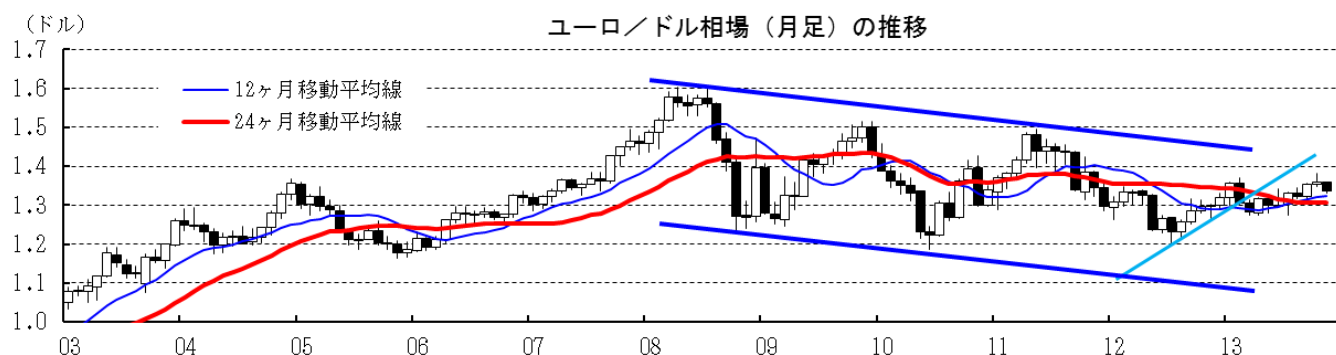
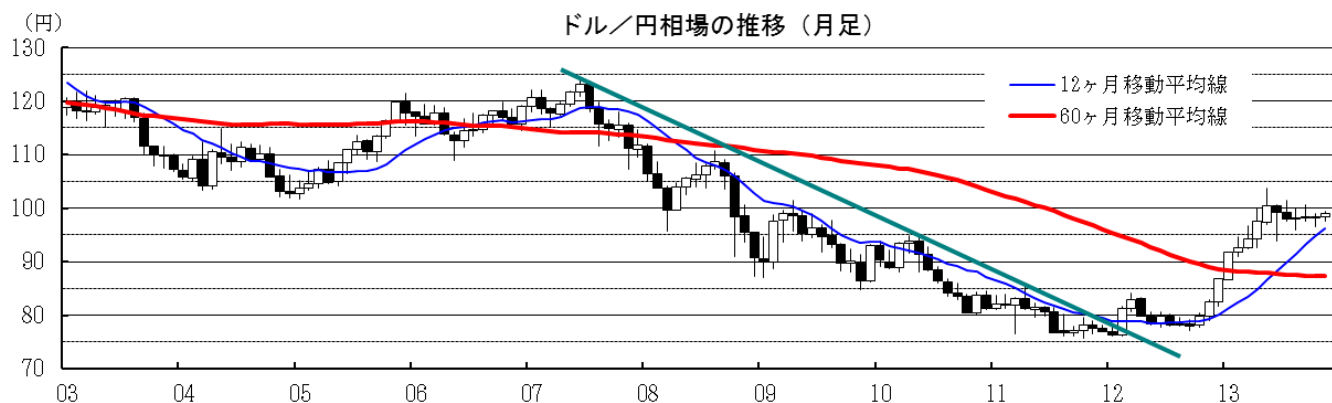
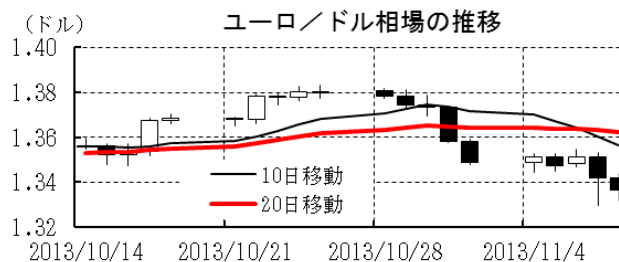
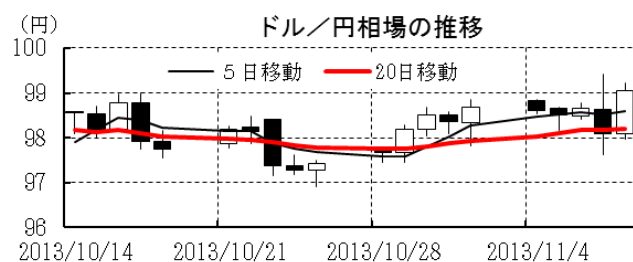
(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、ポンド、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。

「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間＝4週間前の週間変化率、6カ月前＝6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

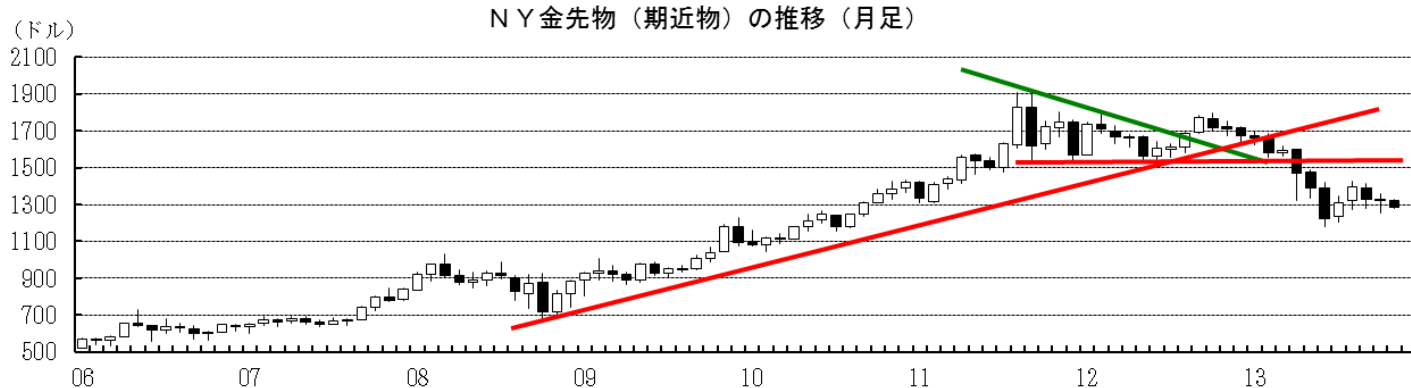
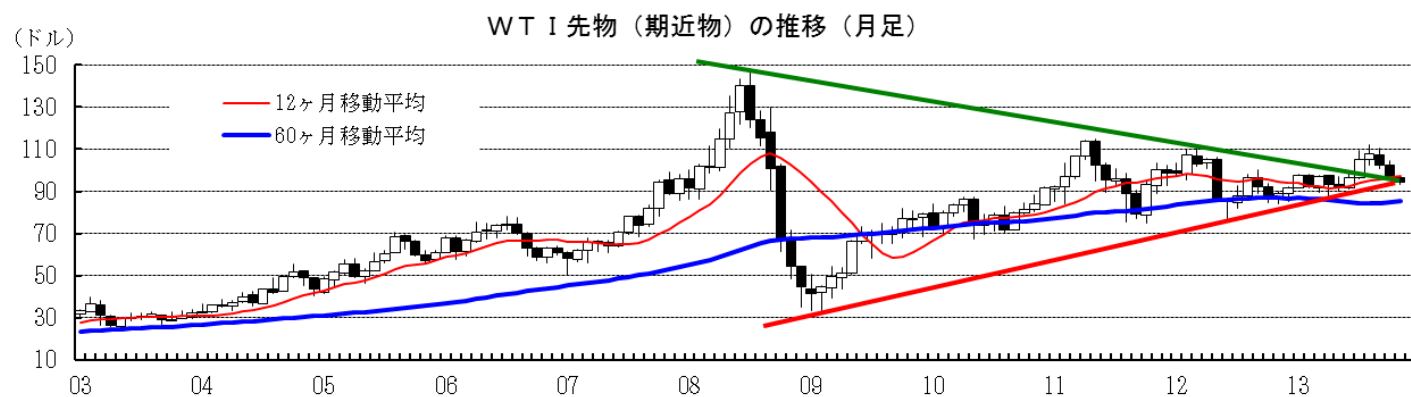
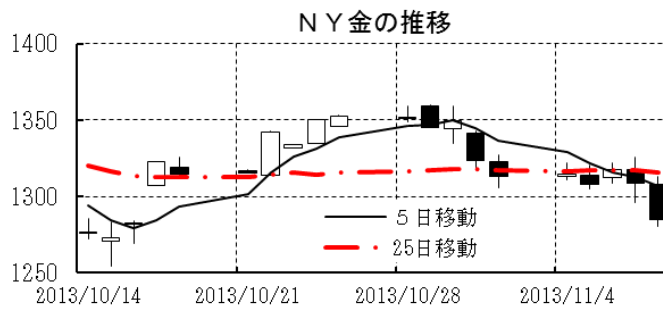
[商品]	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間						週間	
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
WT I	94.60	+11.2	▲8.6	▲0.0	▲1.6	+5.0	+8.8	+2.5	▲4.9	▲5.8	▲2.9	▲3.3
北海ブレント	105.12	▲1.9	▲4.6	▲0.7	▲1.9	+1.8	+5.4	+5.9	▲4.9	+0.4	▲2.7	▲1.0
ドバイ	102.29	▲2.8	▲4.5	▲3.8	▲2.9	+1.5	+3.6	+8.2	▲6.5	+1.7	▲2.1	+1.8
OPECバスケット	102.64	▲1.9	▲4.4	▲2.7	▲1.9	+2.0	+4.2	+6.3	▲5.3	+0.7	▲1.5	+0.5
金 (NY)	1284.6	▲25.6	▲3.0	▲2.2	▲5.4	▲12.1	+7.2	+6.4	▲5.0	▲0.2	+2.9	▲2.9
銅 (LDN)	7,168	▲5.8	▲1.0	▲1.1	+3.6	▲7.6	+1.9	+3.2	+2.8	▲0.7	▲0.8	+0.8
アルミ (LDN)	1,815	▲5.6	▲2.7	▲1.5	+1.9	▲7.0	+1.7	+0.5	+1.7	+0.8	+1.8	▲2.0
鉛 (LDN)	2,140	▲1.7	+2.2	▲2.1	+8.6	▲6.8	+0.9	+4.0	▲1.6	+3.2	+1.4	▲0.8
ニッケル (LDN)	13,915	▲13.0	+0.1	▲4.5	▲3.7	▲7.5	+1.2	▲0.5	+1.1	+4.7	+2.7	▲0.1
スズ (LDN)	22,850	+12.5	▲3.2	+0.2	+2.6	▲5.9	+3.7	+4.0	+10.0	▲2.0	+2.2	▲1.7
銀 (NY、現物)	21.13	▲34.7	▲5.3	▲3.5	▲8.5	▲11.6	+1.0	+18.5	▲7.8	+1.0	+2.8	▲2.9
プラチナ (NY、現物)	1,446	▲6.3	+3.1	▲0.6	▲3.2	▲9.0	+8.5	+5.8	▲7.8	+3.2	+1.0	+0.1
小麦 (シカゴ)	649.75	▲28.0	▲6.3	▲2.7	▲2.3	▲8.1	+2.4	▲3.2	+5.5	▲1.6	▲2.1	▲3.3
大豆 (シカゴ)	422.30	▲8.8	▲1.5	+6.9	+4.4	+9.6	▲11.3	+7.6	▲12.5	▲1.5	+3.3	▲6.8
コーン (シカゴ)	426.75	▲42.4	▲3.4	▲0.1	▲3.1	+2.6	▲26.5	▲0.8	▲10.8	▲3.0	▲0.3	▲2.9
CRB	274.39	▲5.9	▲4.7	▲0.2	▲2.2	▲2.2	+3.0	+2.5	▲1.9	▲2.7	▲1.5	▲2.7
JOC	120.87	+1.9	▲1.9	▲0.2	▲1.4	▲3.3	+1.3	+1.5	+0.1	▲2.3	▲1.8	+0.2

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率 (例: 4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率) を示す。

直近値以外の単位は%。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい (下落率の低い) 商品、太斜字は最も下落率の大きい (上昇率の低い) 商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。